

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語演習Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	3S06		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	制御情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	READ TO WRITE - An Integrated Course for College Student -(Asahi Press)					
担当教員	江島 孝則					
到達目標						
1. 英文法の知識を再確認する。 2. 多様な内容の英文を読んで大意を理解できる能力を養成する。 3. 英文法の知識と語彙力を使って英文を書く能力を養成する。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 英文法の基礎知識	高校レベルの基礎文法の8割以上を習得している		高校レベルの基礎文法の6割以上を習得している。	高校レベルの基礎文法の6割以上を習得していない。		
評価項目2 英語の発音と聞き取り	テキストの英文を殆ど辞書を使わずに大意を把握できる。		キストの英文を辞書を使えば大意をは把握できる。	キストの英文を辞書を使っても大意をは把握でききない。		
評価項目3 英語の語彙	与えられた日本語を文法力と語彙力を使って同じ意味の英文を書ける。		与えられた日本語を文法力と語彙力を使って少し間違いがあってもほぼ同じような意味の英文を書ける。	与えられた日本語を文法力と語彙力を使ってもほぼ同じような意味の英文が書けない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1, 2年次に学習した基本的な文法事項を定着させ応用力を養成するとともに、その知識を生かして多様なトピックの英文を理解できるようにする。また、教科書付属のCD等を活用したリスニングや発音の練習方法を身につける。日本語を英語に直す演習を通して英作文を書く力を養成する。					
授業の進め方・方法	授業はテキストに沿って進める。各レッスン毎に基礎的な文法事項を確認する。必要に応じてプリントも使用する。課題提出の課す。事前に予習し、授業には辞書を持参すること。					
注意点	評価基準：60点以上を合格とする。（配分：定期試験70%、発表・課題30%）必要に応じて再試を実施する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction		授業の進め方と学習の仕方を理解する	
		2週	Lesson 1 Hi Jason (An-e-mail)		英語の分の語順（肯定文・疑問文・否定文）を確認する。	
		3週	Lesson 2 Crash Closes Bridge during Storm		主語の数と動詞の形を確認する。	
		4週	Lesson 3 Hightones Reunion Concert		いろいろな動詞（基本文型）を確認する。	
		5週	Lesson 4 Dear Sirs: A letter of Request		目的語2つの文・1つの文(SVOO)を確認する。	
		6週	Lesson 5 Assembly Instructions for the XYZ Three-self Bookcase		目的語・補語のある文（SVOC・知覚動詞・使役動詞）を確認する。	
		7週	Lesson 6 The Lesson of the Talking Fish		情報の伝え方について理解する。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	Lesson 7 Stranded! Leaves Us Cold		現在形・現在進行形について確認する。	
		10週	Lesson 8 The Big Ben		過去形・過去進行形など時制について確認する。	
		11週	Lesson 9 This Is Your Captain		未来表現について確認する。。	
		12週	Lesson 10 Two Letters		現在完了形について確認する。	
		13週	Lesson 11 Japanese Youth: Can There Be Life without a Cellephone		過去完了・未来完了形について理解する。	
		14週	Lesson 12 How Long Can People Live?		助動詞について確認する。	
		15週	Grramar Review 1		これまでにテキストに出てきた文法項目を整理する。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	Lesson 13 Dear Sirs: A Letter of Complaint		条件文と仮定法について確認する。	
		2週	Lesson 14 A Farewell Speech		仮定法を使った定型表現について確認する。	
		3週	Lesson 15 Wind Force 2000 Air Conditioner Limited Warranty		受動態について確認する	
		4週	Lesson 16 Hollingsworth State Park		動名詞と不定詞について確認する。	
		5週	Lesson 17 Super White		同等比較・比較級比較・最上級比較について確認する。	
		6週	Lesson 18 The Tuft Television Spring Conference		後置修飾（前置詞句・分詞など）について理解する。	
		7週	Lesson 19 The Woman Who Made Cellphone Life Possible		関係代名詞の使い方を確認する。	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	Lesson 20 Geology Class Field Trip		関係副詞の使い方を確認する。	
		10週	Lesson 21 Country Cottage Potato Salad		文のつなげ方（接続詞・文副詞）について確認する。	
		11週	Lesson 22 An Open Hearing		分詞構文を確認する	
		12週	Lesson 23 A Letter to the Editor		Itを使った強調構文や無生物主語の構文を理解する。	

		13週	Lesson 24 The Use of Child Seats	いろいろな否定文（二重否定・部分否定）の使い方を理解する。
		14週	Grammar Review 2	後期にテキストに出てきた文法事項を整理する。
		15週	Comprehensive English Composition	テキスト中に演習したGuided Compositionをレビューし整理する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	

評価割合

	試験	授業中の発表	課題	合計
総合評価割合	70	15	15	100
基礎的能力	70	15	15	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0